

大阪経済の情勢

(平成25年11月指標を中心に)

平成 26 年 1 月
大阪府商工労働部
(大阪産業経済リサーチセンター)

「大阪経済は、緩やかに回復しつつある」

需要面では、個人消費は緩やかに回復しつつある。大型小売店販売額、コンビニ販売額、家電販売額、新車販売台数のすべてで増加した。家計消費支出(近畿)は増加。投資は緩やかに持ち直している。住宅投資は増加、非居住用建設投資は減少した。公共投資は増加。輸出は持ち直している。輸出額は9ヶ月連続で増加し、主要国向けではすべての地域で増加。輸入額は11ヶ月連続の増加。取扱貨物量は、関空、大阪港ともに増加。

供給面では、生産動向は持ち直している。大阪府(10月)は、生産、出荷ともに低下。近畿の生産(10月)は上昇、全国の生産(11月)は上昇。在庫循環は意図せざる在庫減局面。雇用は改善している。所定外労働時間は増加し、近畿の失業率は改善。有効求人倍率、新規求人倍率はともに上昇。倒産は件数、負債金額ともに改善。

先行きについては、景気動向指数(先行)は上昇。今後は、海外経済の動向や、原材料価格、消費者物価の動向について、引き続き注意が必要。

		需要							
	総合	消費				投資		貿易・貨物	
	一致CI(大阪)	大型小売店販売(大阪)	コンビニ販売(近畿)	家電販売(近畿)	新車販売(大阪)	新設住宅着工(大阪)	建築物着工(大阪)	輸出(近畿)	関空取扱貨物量
11月	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↓	↑	↑
10月	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↓	↑	↓

		供給				その他
	生産	雇用		倒産	観光	
	生産指数(大阪)	生産指数(全国)	有効求人倍率(大阪)	失業率*(近畿)	倒産件数*(大阪)	関空外国人旅客
11月	↑	↑	↑	↑	↑	↑
10月	↓	↑	↑	↑	↓	↑

※前年同月と比較し、上向き矢印は「景況改善」、下向き矢印は「景況悪化」。ただし、一致CI、生産指数、有効求人倍率は季節調整済みのため、前月との比較。失業率と倒産件数は、減少・低下が景況改善となり、上向き矢印となる。

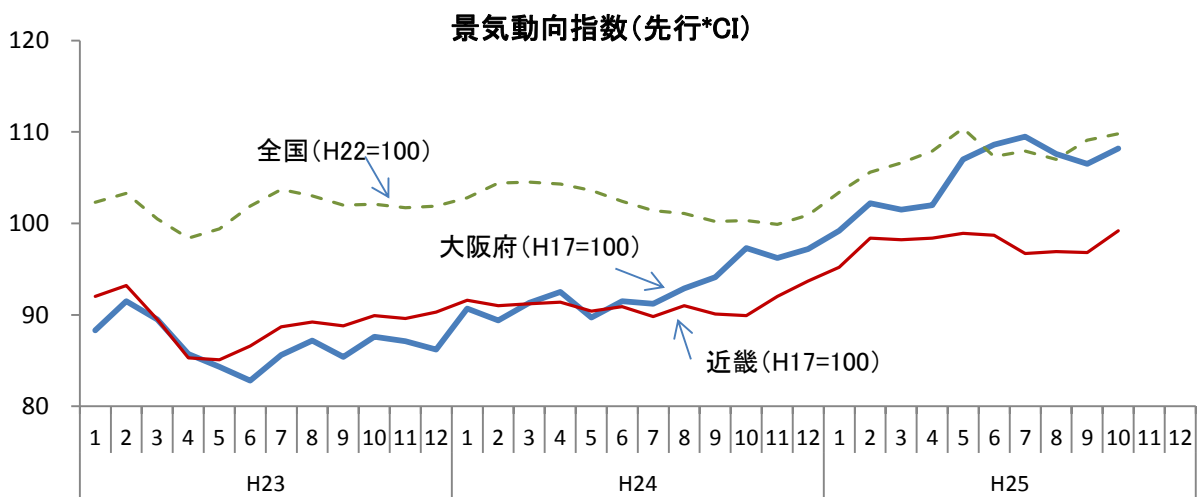
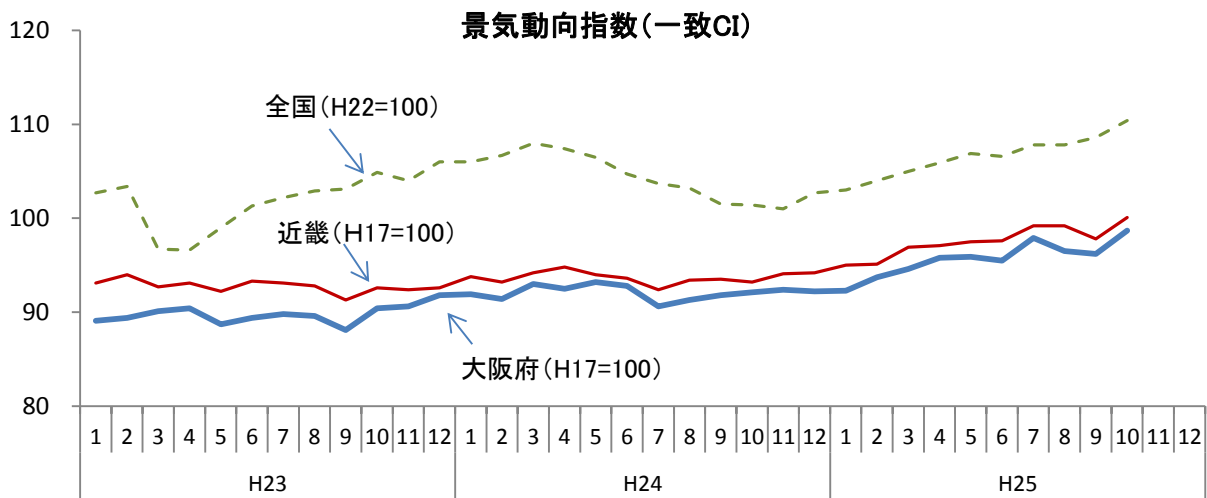
(参考)他機関の総括判断

	前回(25年11月公表分) (25年9月指標中心)	今回(25年12月公表分) (25年10月指標中心)
内閣府 「月例経済報告」	景気は、緩やかに回復しつつある。	景気は、緩やかに回復しつつある。
近畿経済産業局 「近畿経済の動向」	近畿地域の経済は、持ち直している。	近畿地域の経済は、着実に持ち直している。
日本銀行大阪支店 「近畿地域金融経済概況」	近畿地域の景気は、緩やかに回復している。	近畿地域の景気は、緩やかに回復している。

※以下、Pは速報値を表す

[総合]

○景気動向指数(CI)【大阪府(10月)は一致CI、先行CIともに上昇。大阪府(一致CI)では、主に「関西大口電力使用量」が上昇に寄与。近畿(10月)は一致CI、先行CIともに上昇。全国(10月)の一致は上昇。】



(資料)大阪産業経済リサーチセンター「景気動向指数」、内閣府「景気動向指数」
 ※先行CIは、3ヶ月から半年程度、景気に先行する指標で構成されている。

一致CI

	H25年9月	10月	11月
大阪府	96.2	P 98.7	
近畿	97.8	P 100.1	
全国	108.4	109.6	

先行CI

	H25年9月	10月	11月
大阪府	106.5	P 108.2	
近畿	96.8	P 99.2	
全国	109.2	109.9	

一致CIの個別系列の寄与度*(大阪府、10月速報)

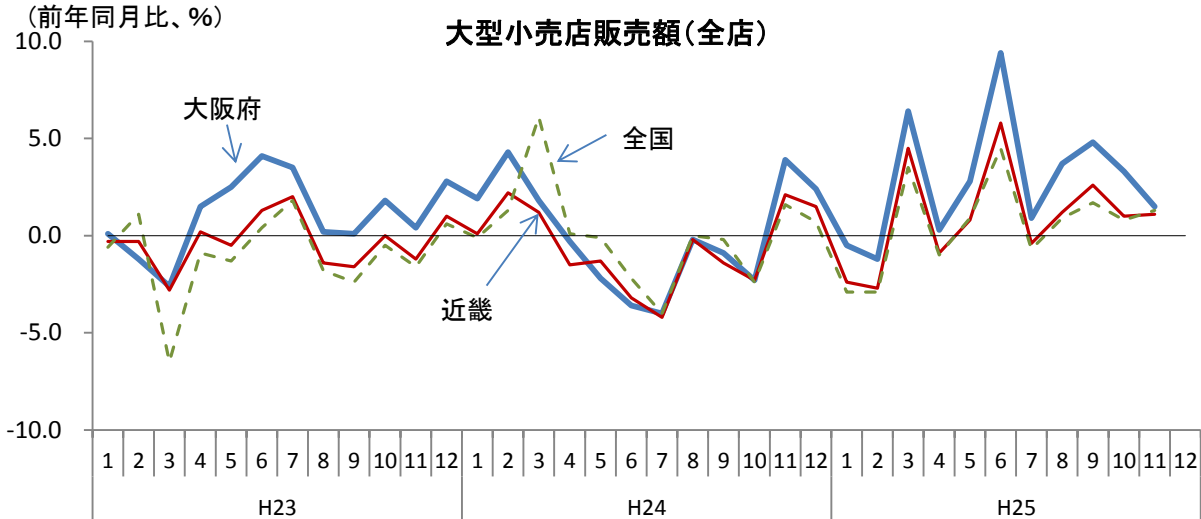
百貨店売場面 積当たり販売額	大阪税関管内 輸入通関額	製造工業 生産指数	生産財 出荷指数	関西大口電力 使用量(合計)	有効求人倍率	所定外労働時間 指数(製造業)
▲0.06	0.50	▲0.09	0.46	1.05	0.13	0.55

※寄与度とは、CIの前月からの変化が、CIを合成する個別系列からどの程度もたらされたのかを示した数値。

[需要] 消費

個人消費は緩やかに回復しつつある。大型小売店販売額、コンビニ販売額、家電販売額、新車販売台数のすべてで増加した。家計消費支出(近畿)は増加。

○大型小売店販売額(全店)【9ヶ月連続の増加。百貨店販売額は13ヶ月連続の増加。】



(資料)近畿経済産業局「大型小売店販売状況」、経済産業省「商業販売統計」

大型小売店販売額(全店)

		H25年9月	10月	11月
販売額(億円)	大阪府	1,323	1,397	P 1,519
前年比(%)	大阪府	4.8	3.3	P 1.4
	近畿	2.6	1.0	P 1.1
	全国	1.7	0.8	P 1.3

百貨店(大阪府)

		H25年9月	10月	11月
販売額(億円)		646	703	P 802
前年比(%)		8.6	5.7	P 1.8

スーパー(大阪府)

		H25年9月	10月	11月
販売額(億円)		677	694	P 716
前年比(%)		1.5	1.0	P 1.1

大阪府内大型小売店へのヒアリングより(11月)

11月は、前半は気温が平年よりも高めに推移し、コート、ジャケット、肌着など冬物商品の動きが鈍かった。後半は気温が低下し、冬物ファッションが好調となるも、一部小売店では前半の落ち込みを取り戻せなかった。

消費税率引上げを目前にして、冷蔵庫、洗濯機などの大型白物家電やエアコンが好調であったほか、海外・国産の高級腕時計の売上げも堅調に推移している。

なお、歳暮商戦はインターネット販売やコンビニエンスストアの台頭により、店頭販売が苦戦する企業もあった。

○コンビニエンスストア販売額(全店)【近畿は9ヶ月連続の増加。】

		H25年9月	10月	11月
販売額(億円)	近畿	1,191	1,230	P 1,189
前年比(%)	近畿	3.9	5.3	P 6.0
	全国	3.8	4.6	P 5.9

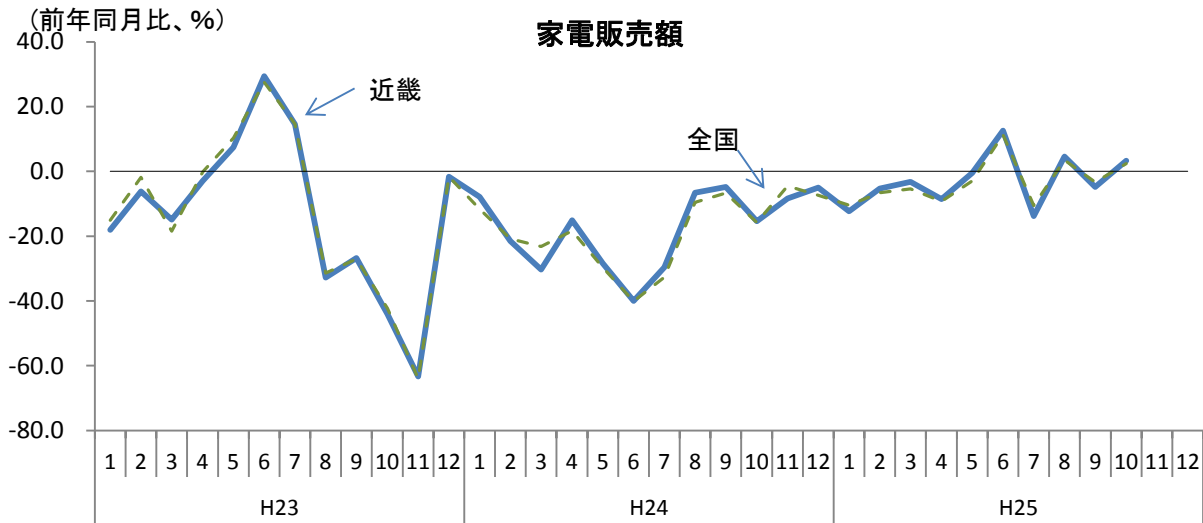
○家計消費支出【近畿は4ヶ月連続の増加。】

		H25年9月	10月	11月
円	近畿	299,304	327,567	316,135
前年比(%)	近畿	10.5	11.0	12.1
	全国	5.2	0.4	0.3

(資料)総務省統計局「家計調査」 ※二人以上の世帯うち勤労者世帯、一世帯当たりの名目。

[需要] 消費

○家電販売額【近畿(10月)は2か月ぶりの増加。「エアコン」「冷蔵庫」などが前年を上回った。】



(資料) 近畿経済産業局「近畿経済の動向」

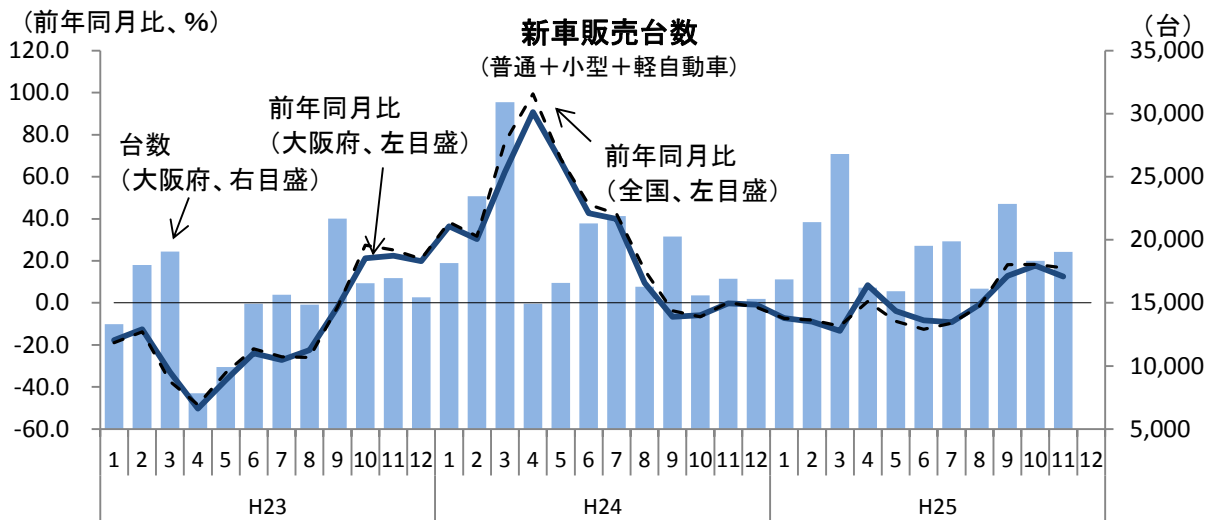
※平成23年4月分よりデータ集計対象企業が変更されたため、前後のデータと連続しない。

商品別の主な増減(近畿、10月)

		H25年9月	10月	11月
前年比 (%)	近畿	▲4.8	3.3	
	全国	▲3.3	2.4	

「オーディオ」(前年同月比29.2%減)が前年を下回ったものの、「エアコン」(同28.5%増)、「冷蔵庫」(同14.2%増)などが前年を上回った。

○新車販売台数【3ヶ月連続の増加。】



(資料) (一社)日本自動車販売協会連合会、(一社)全国軽自動車協会連合会

		H25年9月	10月	11月
販売額(台)	大阪府	22,849	18,339	19,037
前年比 (%)	大阪府	12.8	17.7	12.6
	全国	18.1	18.4	16.7

車種別の増減

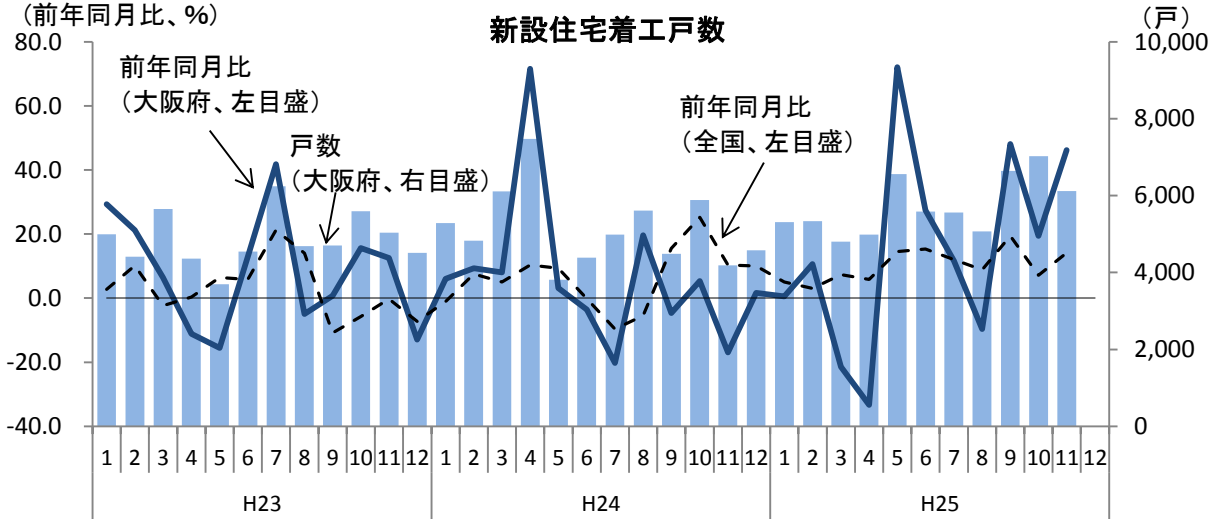
(大阪府、前年同月比(%))、11月)

普通車	小型車	軽自動車
16.4	9.4	11.5

[需要] 投資

投資は緩やかに持ち直している。住宅投資は増加、非居住用建設投資は減少した。公共投資は増加。

○新設住宅着工戸数【3ヶ月連続の増加。】

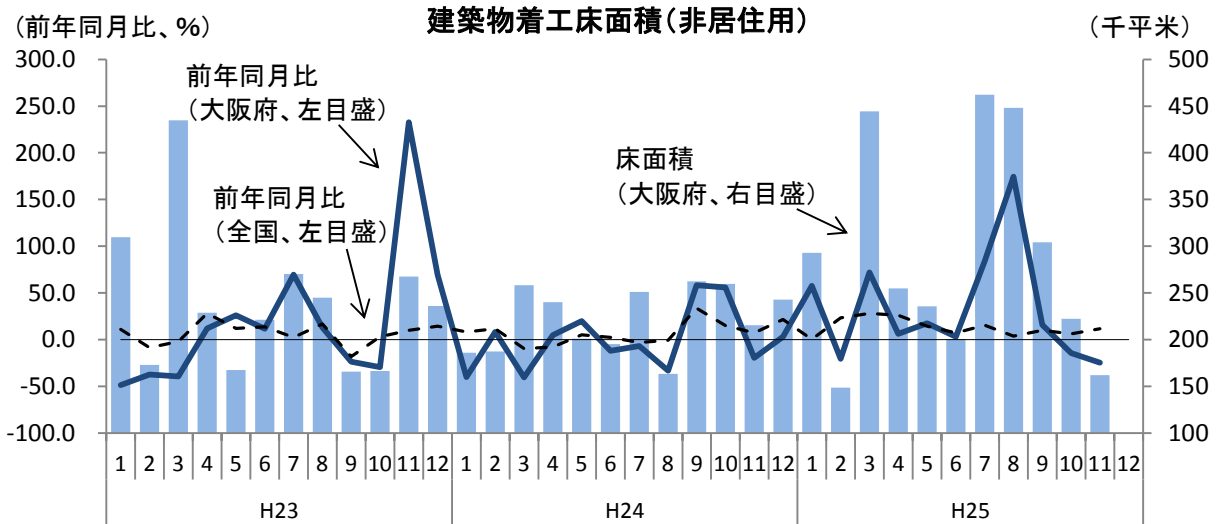


(資料)国土交通省「住宅着工統計」

		H25年9月	10月	11月
戸数	大阪府	6,639	7,027	6,119
前年比 (%)	大阪府	48.1	19.4	46.2
	全国	19.4	7.1	14.1

利用者関係別の増減 (大阪府、前年同月比(%), 11月)		
持家	貸家	分譲
37.8	52.2	45.5

○建築物着工床面積(非居住用)【2ヶ月連続の減少。「卸売業・小売業用」、「製造業用」などが減少。】



(資料)国土交通省「建築着工統計」

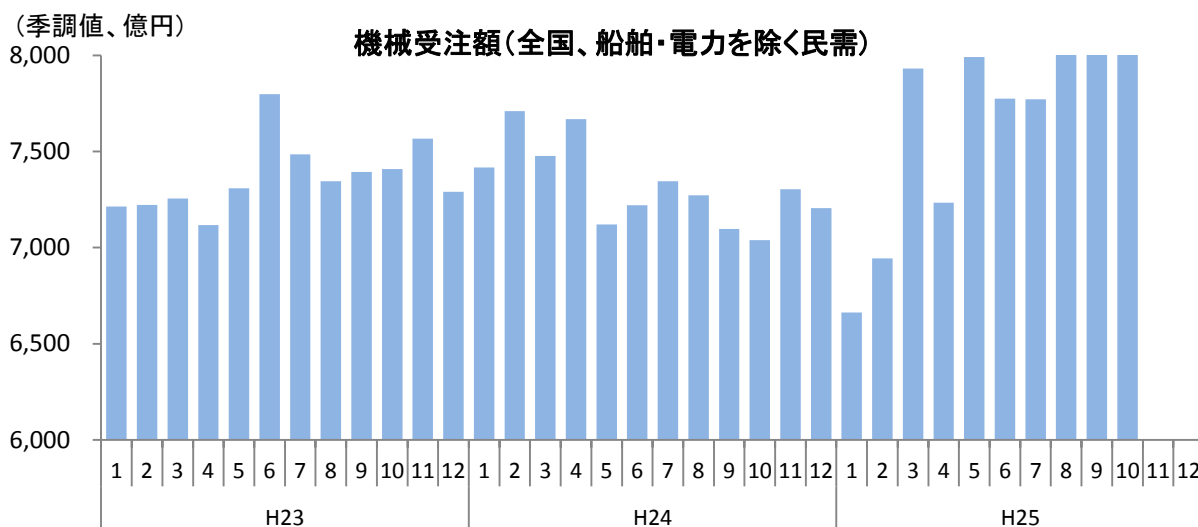
		H25年9月	10月	11月
千m ²	大阪府	304	222	162
前年比 (%)	大阪府	15.9	▲14.5	▲24.8
	全国	9.8	6.0	11.5

着工床面積の主な増減 (大阪府、前年同月比の寄与度※(%), 11月)	
増加	教育、学習支援業(9.3)、 情報通信業(5.3)
減少	卸売業・小売業(▲17.1)、 製造業(▲12.8)、運輸業(▲9.7)

※寄与度とは、全体の増減率の要因として、各業種の増減がどの程度貢献しているのかを表す数値。

【需要】 投資

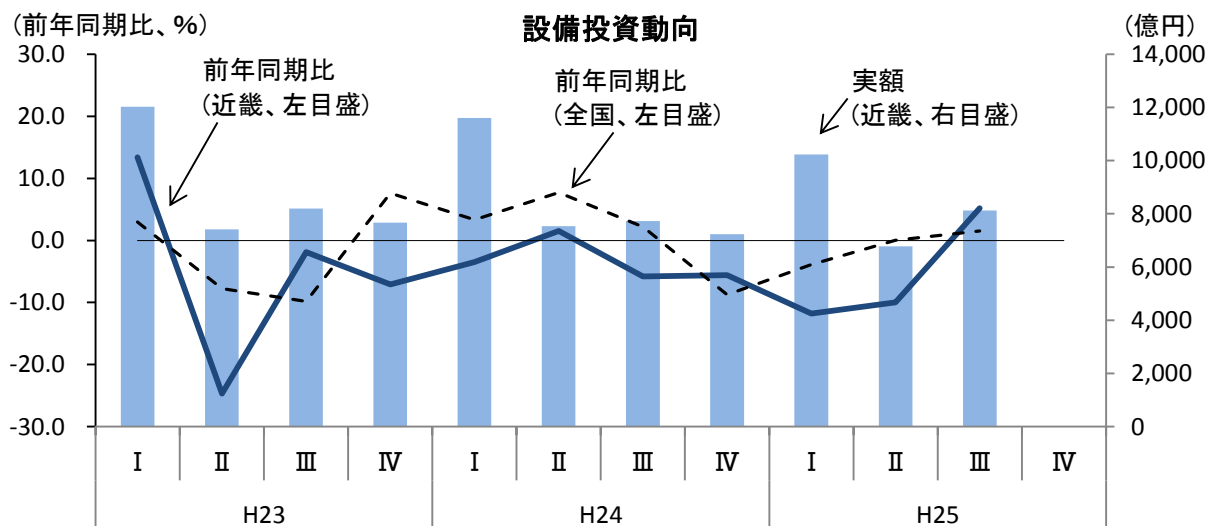
○機械受注額【10月(全国)は増加。「製造業」は減少したが、「非製造業」が増加。】



(資料)内閣府「機械受注統計調査」

	H25年9月	10月	11月
全国(億円)	8,021	8,072	

○設備投資動向【7~9月期(近畿)は増加。「製造業」は減少、「非製造業」は増加。】



(資料)近畿財務局「法人企業統計」、財務省「法人企業統計」

※資本金10億円以上、全産業(金融・保険業を除く)。ソフトウェアを含む設備投資。

		H25年1~3月	4~6月	7~9月
億円	近畿	10,237	6,778	8,123
前年同期比 (%)	近畿	▲11.8	▲10.0	5.2
	全国	▲3.9	0.0	1.5

○公共工事請負金額【8ヶ月連続の増加。】

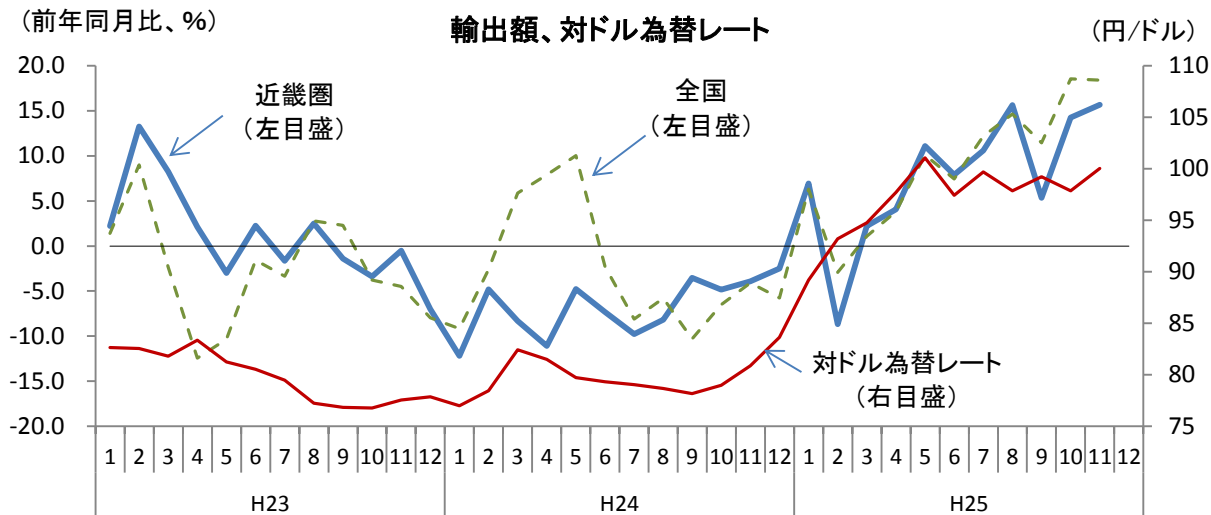
		H25年9月	10月	11月
億円	大阪府	356	347	315
前年比 (%)	大阪府	38.8	6.5	23.1
	全国	29.4	3.5	4.9

(資料)西日本建設業保証(株)「公共工事前払保証統計」

[需要] 貿易・貨物

輸出は持ち直している。輸出額は9ヶ月連続で増加し、主要国向けではすべての地域で増加。輸入額は11ヶ月連続の増加。取扱貨物量は、関空、大阪港ともに増加。

○輸出額【9ヶ月連続の増加。「半導体等製造装置」、「鉄鋼」などが増加。主要国・地域向けでは、すべての地域で増加。】



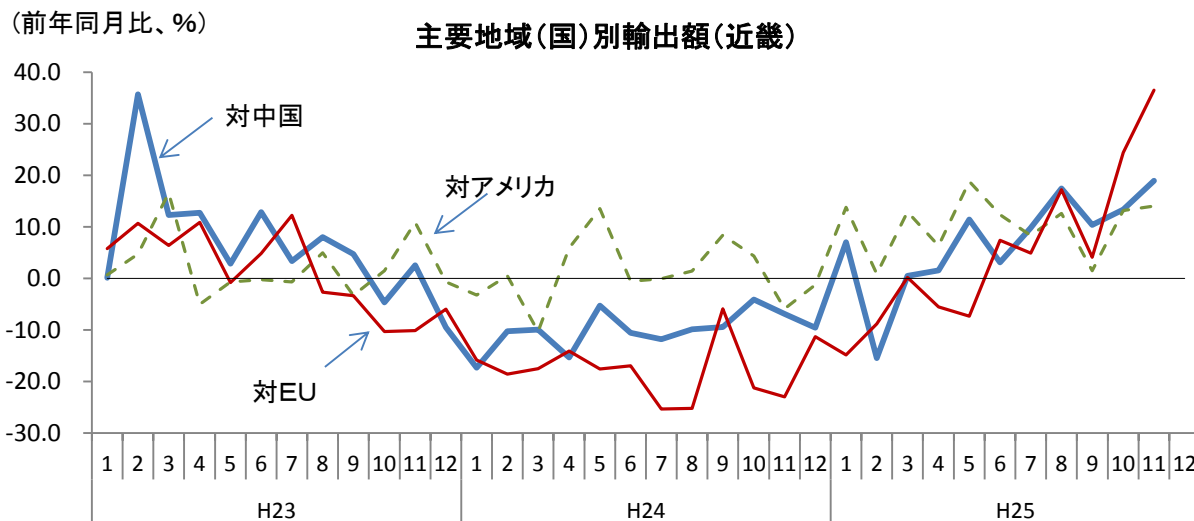
(資料) 大阪税関「貿易統計」、日本銀行「時系列統計」

※対ドル為替レートは、東京インターバンク相場、ドル・円、スポット、中心相場/月中平均。

		H25年9月	10月	11月
輸出額(億円)	近畿	12,544	12,848	P 12,427
前年比 (%)	近畿	5.3	14.3	P 15.7
	全国	11.5	18.6	P 18.4
為替レート(円/ドル)		99.24	97.85	100.03

品目別の主な増減
(近畿、前年同月から増減額順、11月)

増加	半導体等製造装置、鉄鋼、船舶
減少	ガラス及び同製品、音響・映像機器部分品、金属加工機械



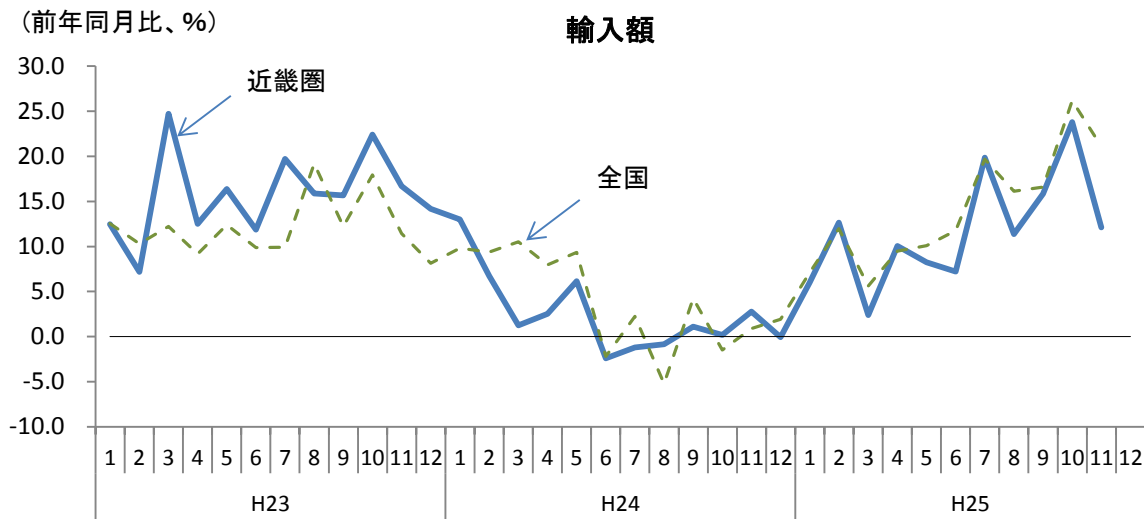
(資料) 大阪税関「貿易統計」

主要地域別輸出額の増減(近畿、前年同月比(%))、11月)

アジア(含む中国)	11.4	9ヶ月連続の増加
中国	19.0	9ヶ月連続の増加
EU	36.5	6ヶ月連続の増加
アメリカ	14.1	11ヶ月連続の増加

[需要] 貿易・貨物

○輸入額【11ヶ月連続の増加。「半導体等電子部品」、「通信機」などが増加。】



(資料)大阪税関「貿易統計」

		H25年9月	10月	11月
輸入額(億円)	近畿	12,878	P 13,955	P 13,468
前年比 (%)	近畿	15.8	P 23.8	P 12.1
	全国	16.6	P 26.2	P 21.1

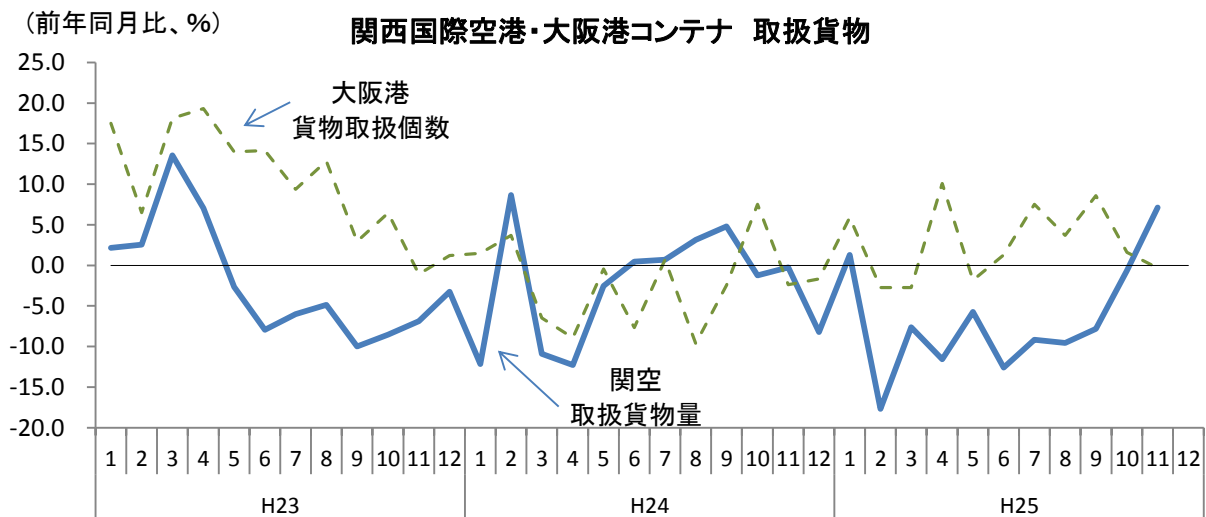
品目別の主な増減
(近畿、前年同月から増減額順、11月)

増加	半導体等電子部品、通信機、原油及び粗油
減少	鉄鉱石、医薬品、有機化合物

主要地域別輸入額の増減(近畿、前年同月比(%))、11月

アジア(含む中国)	18.3	11ヶ月連続の増加
中国	18.9	11ヶ月連続の増加
EU	▲4.2	11ヶ月ぶりの減少
アメリカ	18.6	3ヶ月連続の増加

○関空取扱貨物量【10ヶ月ぶりの増加】、大阪港コンテナ貨物取扱個数【6ヶ月ぶりの低下。】



(資料)新関西国際空港(株)「運営概況」、大阪市「港湾統計」

※関西国際空港貨物取扱量はトン、大阪港コンテナ貨物取扱個数はTEUで、外貿の実入+空の合計。

※TEUとは、コンテナ船の積載能力を示す単位で、1TEUは20フィートコンテナ1個分を示す。

関空取扱貨物量

	H25年9月	10月	11月
千トン	56.8	P 59.6	P 63.0
前年比(%)	▲7.8	P ▲0.7	P 7.1

大阪港コンテナ貨物取扱個数

	H25年9月	10月	11月
千TEU	P 193	PP 201	PP 187
前年比(%)	P 8.6	PP 1.6	PP ▲0.3

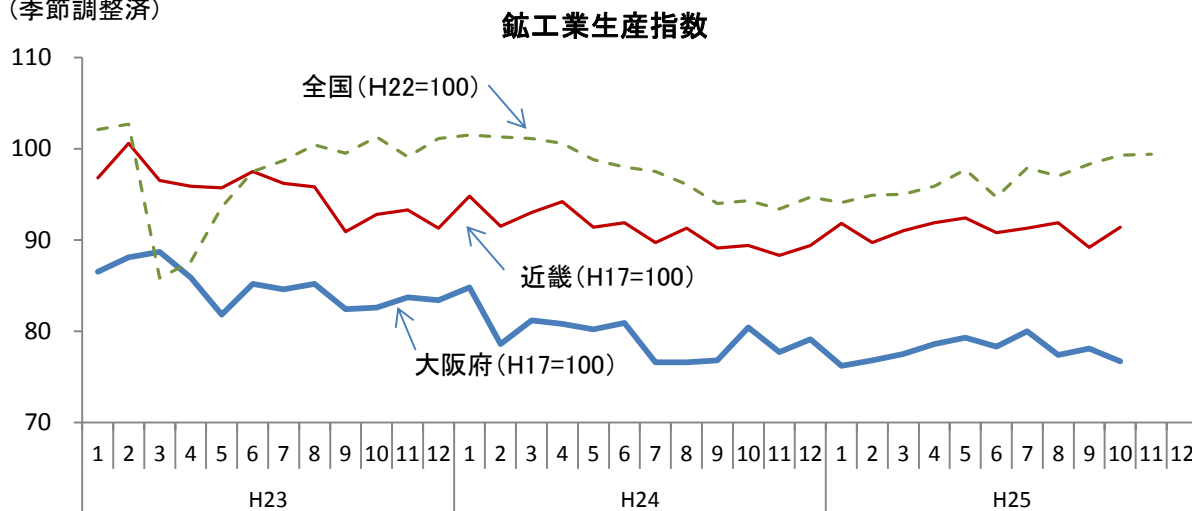
※PPは速報値

[供給] 生産

生産動向は持ち直している。大阪府(10月)は、生産、出荷ともに低下。近畿の生産(10月)は上昇、全国の生産(11月)は上昇。在庫循環は意図せざる在庫減局面。

○鉱工業生産指数【大阪府(10月)は2ヶ月ぶりの低下。「一般機械」、「印刷業」などが低下。近畿(10月、鉱工業)は2ヶ月ぶりの上昇。全国(11月、鉱工業)は3ヶ月連続の上昇。】

(季節調整済)



(資料) 大阪府統計課「大阪の工業動向」、近畿経済産業局「鉱工業生産動向」、経済産業省「鉱工業指数」
※大阪府は製造工業指数。

産業別の主な変動

(大阪府、前月比(%))、寄与度順、10月速報

季調済	H25年9月	10月	11月
大阪府 (H17=100)	78.1	P 76.7	
近畿 (H17=100)	89.2	91.4	
全国 (H22=100)	98.3	99.3	P 99.4

上昇	化学(3.8): ポリプロピレン、カプロラクタム 輸送機械(11.2): シヤシー・車体部品、自動車用駆動伝導・操縦装置部品 プラスチック製品(3.6): プラスチック製容器(中空成形)、プラスチック製継手
低下	一般機械(▲4.5): 一般用バルブ・コック、ポンプ 印刷(▲28.4): 平版印刷(オフセット印刷) 精密機械(▲37.3): 工業用計重機

○鉱工業出荷指数【大阪府(10月)は2ヶ月ぶりの低下。「一般機械」、「食料品」などが低下。近畿(10月)は4ヶ月ぶり上昇。全国(11月)は3ヶ月ぶりの低下。】

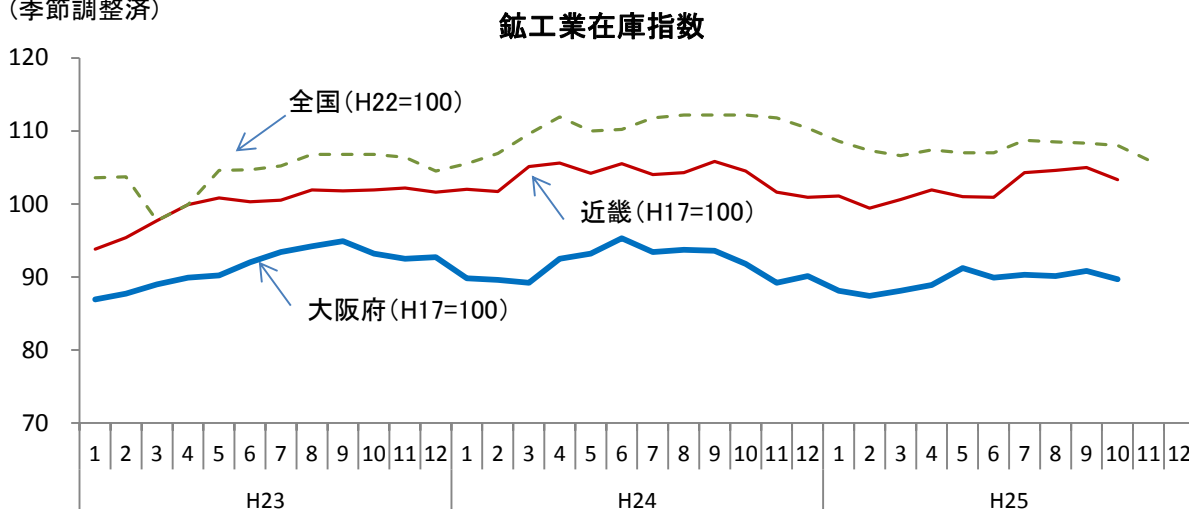
季調済	H25年9月	10月	11月
大阪府 (H17=100)	74.5	P 74.0	
近畿 (H17=100)	89.7	90.2	
全国 (H22=100)	96.9	99.1	P 99.0

(資料) 大阪府統計課「大阪の工業動向」、近畿経済産業局「鉱工業生産動向」、経済産業省「鉱工業指数」
※大阪府は製造工業指数。

[供給] 生産

○鉱工業在庫指数【大阪府(10月)は2ヶ月ぶりの低下。「ゴム製品」、「輸送機械」などが低下。近畿(10月)は4ヶ月ぶりの低下。全国(11月)は4ヶ月連続の低下。】

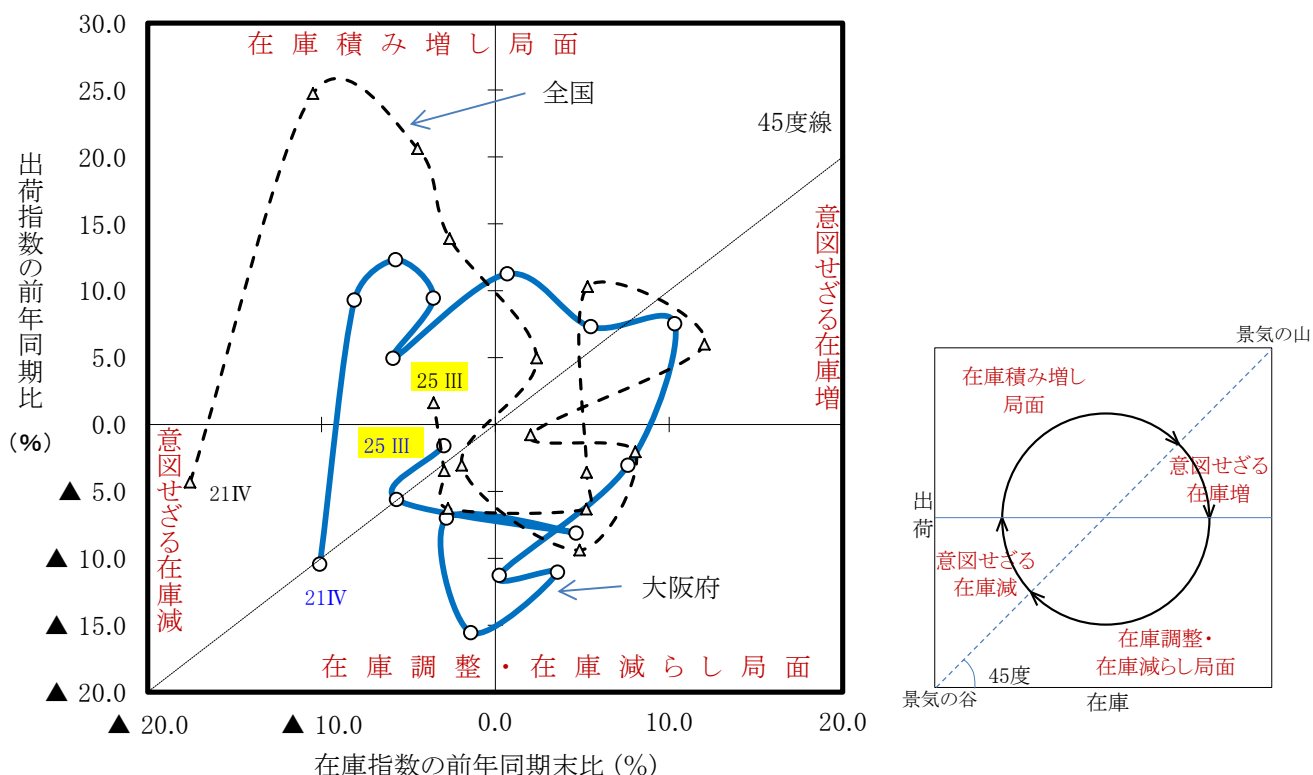
(季節調整済)



(資料)大阪府統計課「大阪の工業動向」、近畿経済産業局「鉱工業生産動向」、経済産業省「鉱工業指数」
※大阪府は製造工業指数。

季調済	H25年9月	10月	11月
大阪府(H17=100)	90.8	P 89.7	
近畿(H17=100)	105.0	103.3	
全国(H22=100)	108.3	108.0	P 106.0

○在庫循環図【大阪府は意図せざる在庫減局面。全国は在庫積み増し局面。】



(資料)大阪府統計課「大阪の工業動向」、経済産業省「鉱工業指数」、内閣府「鉱工業の在庫循環図と概念図」

※出荷指数は原数値の四半期平均、在庫指数は原数値の四半期期末月の数値。

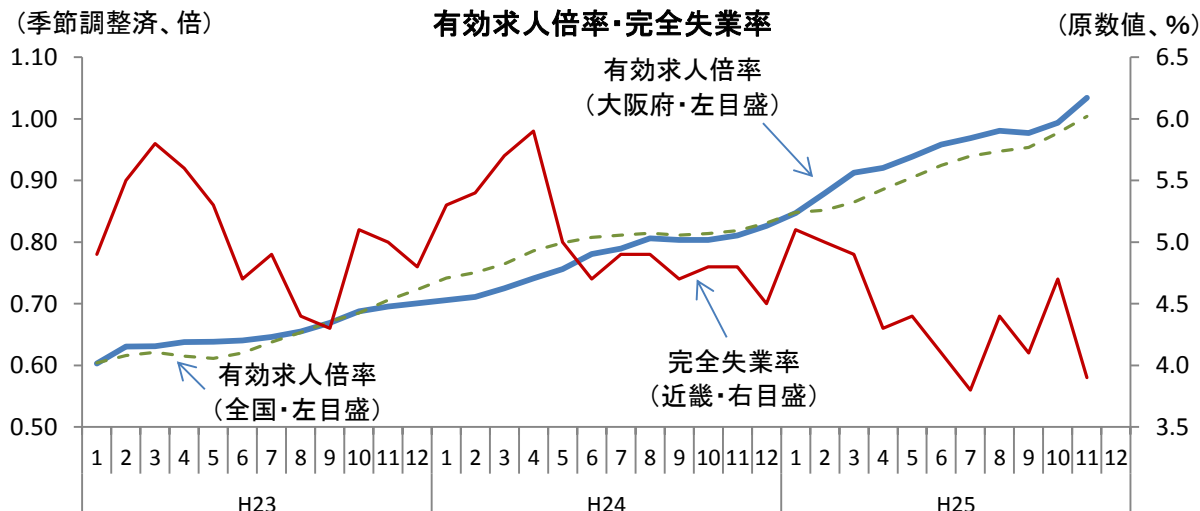
大阪府は製造工業指数。四半期は暦年ベース。

[供給] 雇用・倒産

雇用は改善している。所定外労働時間は増加し、近畿の失業率は改善。有効求人倍率、新規求人倍率ともに上昇。倒産は件数、負債金額ともに改善。

○完全失業率【近畿は前年同月差で14ヶ月連続の低下(改善)。】

有効求人倍率【大阪は2ヶ月連続の上昇】、新規求人倍率【大阪は3ヶ月連続の上昇】



(資料)厚生労働省「一般職業紹介状況」、総務省統計局「労働力調査」 ※有効求人倍率はパートを含む。

完全失業率(近畿、原数値)

	H25年9月	10月	11月
%	4.1	4.7	3.9
前年同月差	▲0.6	▲0.1	▲0.9

完全失業率(全国、季節調整値)

	H25年9月	10月	11月
%	4.0	4.0	4.0
前月差	▲0.1	0.0	0.0

大阪府、近畿及び全国の完全失業率(原数値、%)

	H25年1~3月	4~6月	7~9月
大阪府	5.4	5.2	4.4
近畿	5.0	4.3	4.1
全国	4.3	4.2	4.0

(資料)大阪府統計課「大阪の就業状況」、総務省統計局「労働力調査」

有効求人倍率(季節調整値、倍)

	H25年9月	10月	11月
大阪府	0.98	0.99	1.03
全国	0.95	0.98	1.00

(資料)厚生労働省「一般職業紹介状況」 ※パートを含む。

新規求人倍率(季節調整値、倍)

	H25年9月	10月	11月
大阪府	1.60	1.63	1.64
全国	1.50	1.59	1.56

若年者の有効求人倍率(大阪府、倍、11月)

24歳以下	1.13
25~34歳	1.13

(資料)大阪労働局「労働市場月報」

※就職機会積み上げ方式、パートを含む

新規求人数の主要産業別の増減

(大阪府、前年同月比(%))、11月)

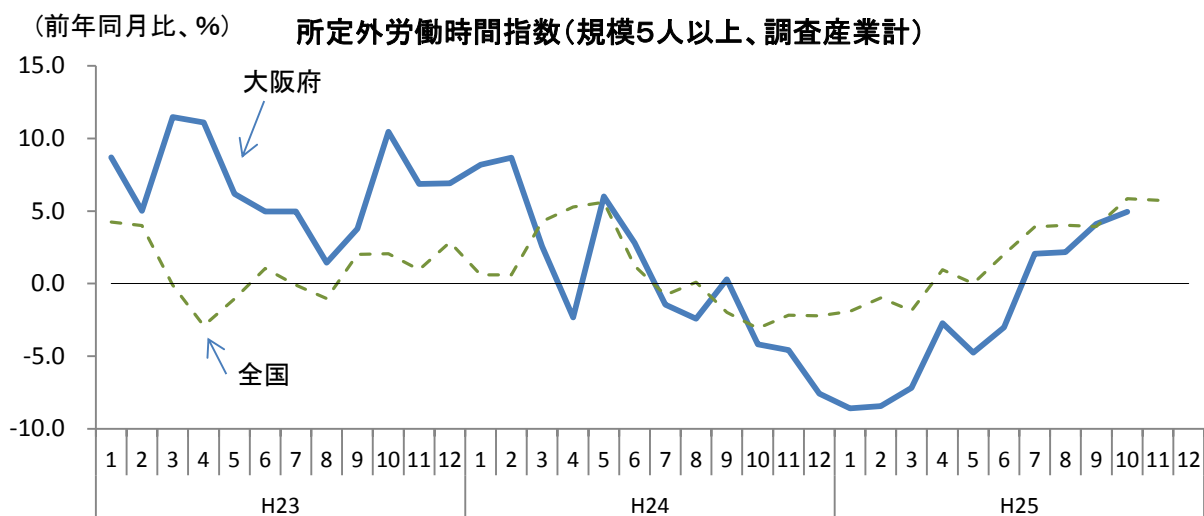
建設業	31.1
製造業	23.2
卸売業、小売業	5.4
宿泊業、飲食サービス業	1.5
医療、福祉	2.8

(資料)大阪労働局「求人・求職状況速報」

※新規求人数の増減は原数値での比較

[供給] 雇用・倒産

○所定外労働時間指数【大阪府(10月)は4ヶ月連続の増加。】



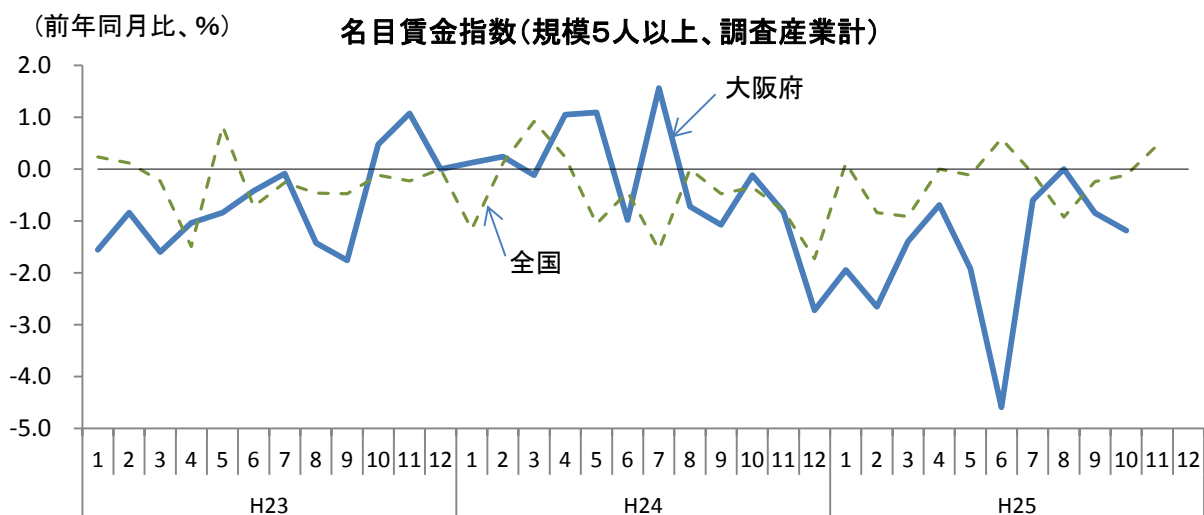
(資料)大阪府統計課「大阪の賃金、労働時間及び雇用の動き」、厚生労働省「毎月勤労統計調査」
 ※事業所規模5人以上、前年同月比は労働時間指数(H22=100)による。

		H25年9月	10月	11月
H22=100	大阪府	106.3	110.4	
前年比 (%)	大阪府	4.1	4.9	
	全国	3.9	5.8	P 5.7

産業別所定外労働時間の主な増減 (大阪府、前年同月比(%)、10月)

増加	生活関連サービス業、娯楽業(64.4) 卸売業・小売業(25.0)、医療・福祉(18.4)、 宿泊業・飲食サービス業(18.4)、 情報通信業(13.9)
減少	教育・学習支援業(▲27.4)

○名目賃金指数【大阪府(10月)は2ヶ月連続の減少。】



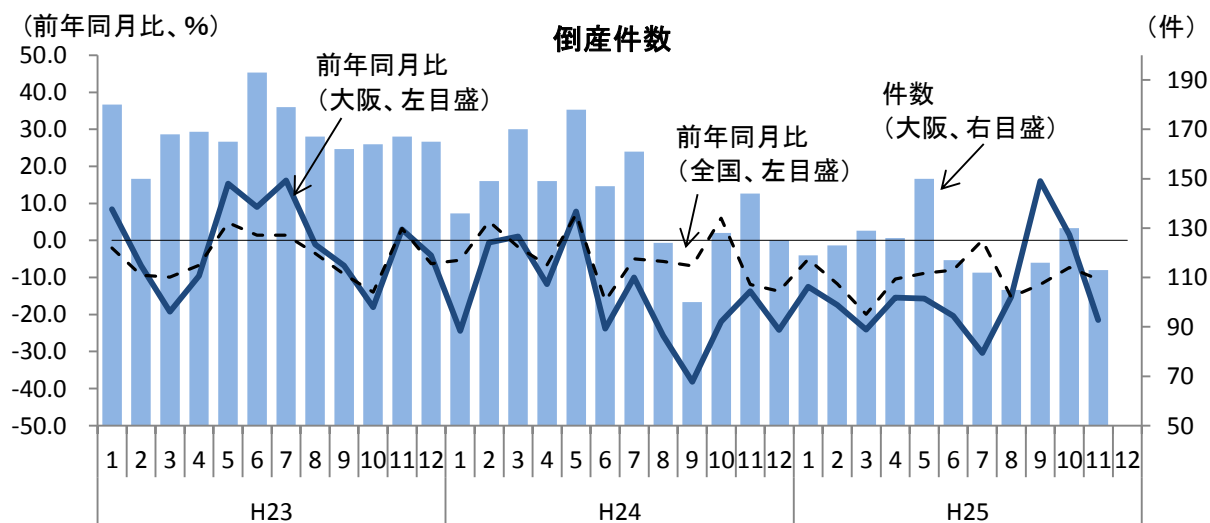
(資料)大阪府統計課「大阪の賃金、労働時間及び雇用の動き」、厚生労働省「毎月勤労統計調査」
 ※前年同月比は名目賃金指数(H22=100)による。

		H25年9月	10月	11月
現金給与総額(円)	大阪府	278,482	282,308	
前年比 (%)	大阪府	▲0.8	▲1.2	
	全国	▲0.2	▲0.1	P 0.5

※前年比は名目賃金指数(H22=100)による。

[供給] 雇用・倒産

○倒産【倒産件数は3ヶ月ぶりの減少(改善)、負債金額は2ヶ月連続の減少(改善)】



(資料)東京商工リサーチ「倒産月報」

倒産件数

		H25年9月	10月	11月
件	大阪府	116	130	113
前年比 (%)	大阪府	16.0	1.5	▲21.5
	全国	▲11.9	▲7.3	▲10.5

負債金額

		H25年9月	10月	11月
億円	大阪府	390	144	113
前年比 (%)	大阪府	393.5	▲18.1	▲61.7
	全国	8.9	▲35.0	▲47.7

主要業種の倒産件数(大阪府)

	H25年9月	10月	11月
建設業	23	31	24
製造業	24	24	18
卸売業	21	24	23
小売業	10	15	7
サービス業	26	25	29

主な倒産(大阪府、11月)

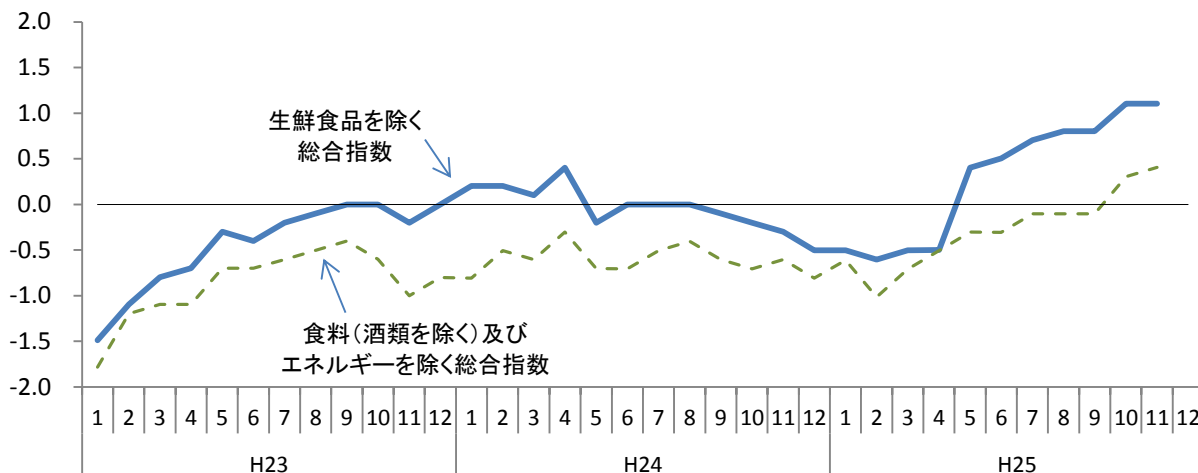
業種	負債額 (百万円)	倒産原因
婦人用ハンドバッグ製造	1,000	販売不振
住宅設備機器卸、施工	800	販売不振
電気機械器具卸	600	過小資本

[その他] 物価

○消費者物価指数【大阪市の生鮮食品を除く総合指数は7ヶ月連続で上昇。「光熱・水道」、「食料」が上昇に寄与。食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合指数は2ヶ月連続で上昇。】

(前年同月比、%)

消費者物価指数(大阪市)



(資料)大阪府統計課「大阪市消費者物価指数」、総務省「消費者物価指数」 ※H22=10000

生鮮食品を除く総合指数(H22=100)

		H25年9月	10月	11月
指数	大阪市	100.4	100.8	P 100.6
前年比 (%)	大阪市	0.8	1.1	P 1.1
	全国	0.7	0.9	1.2

食料(酒類除く)及びエネルギーを除く総合指数(H22=100)

		H25年9月	10月	11月
指数	大阪市	98.4	98.9	P 98.8
前年比 (%)	大阪市	▲0.2	0.3	P 0.4
	全国	0.0	0.3	0.6

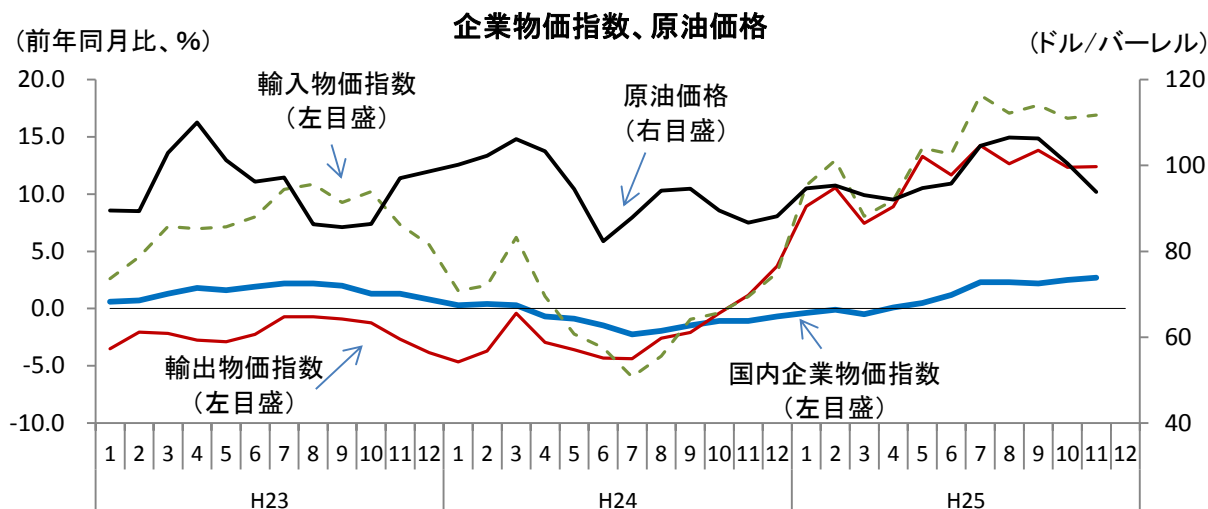
主に変動した分類

(大阪市、前年同月比(%)、寄与度順、11月速報)

上昇	<p>光熱・水道(9.1):電気代、他の光熱(灯油)</p> <p>食料(1.5):野菜・海藻(キャベツ、はくさい、ほうれんそう)、魚介類(えび、いわし、ほたて貝)</p> <p>諸雑費(3.6):身の回り用品(ハンドバッグ(輸入品)、指輪、腕時計)、他の諸雑費(傷害保険料、保育所保育料)</p>
低下	<p>住居(▲0.2):特になし</p> <p>被服及び履物(▲0.8):他の被服類(マフラー、帽子、婦人ソックス)、履物類(スリッパ、婦人服)</p>

[その他] 物価

○企業物価指数【国内企業物価指数、輸出物価指数、輸入物価指数はすべて上昇。原油価格は下落。】



(資料) 日本銀行「企業物価指数」、IMF「Primary Commodity Prices」

※輸出・輸入物価指数は円ベース。物価指数は H22=100。

企業物価指数 (前年同月比 (%))

	H25年9月	10月	11月
国内企業物価指数	2.2	2.5	P 2.7
輸出物価指数	13.8	12.3	P 12.4
輸入物価指数	17.8	16.6	P 16.9

原油価格 (WTI)

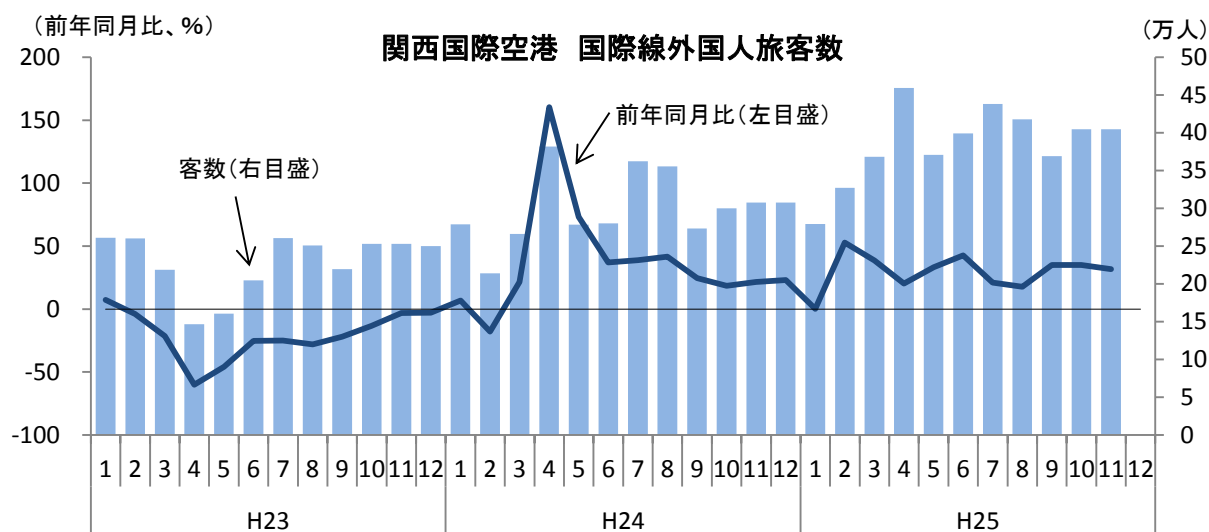
	H25年9月	10月	11月
ドル/バーレル	106.31	100.50	93.81

国内企業物価指数の前月比変化に寄与した
主な類別・品目 (11月速報、寄与度 (%))

農林水産物 (0.05) :
鶏卵、牛肉、杉丸太
スクラップ類 (0.04) :
鉄くず
鉄鋼 (0.02) :
小形棒鋼、溶融亜鉛めっき鋼板、鉄鋼 切断品 (薄板)

[その他] 観光

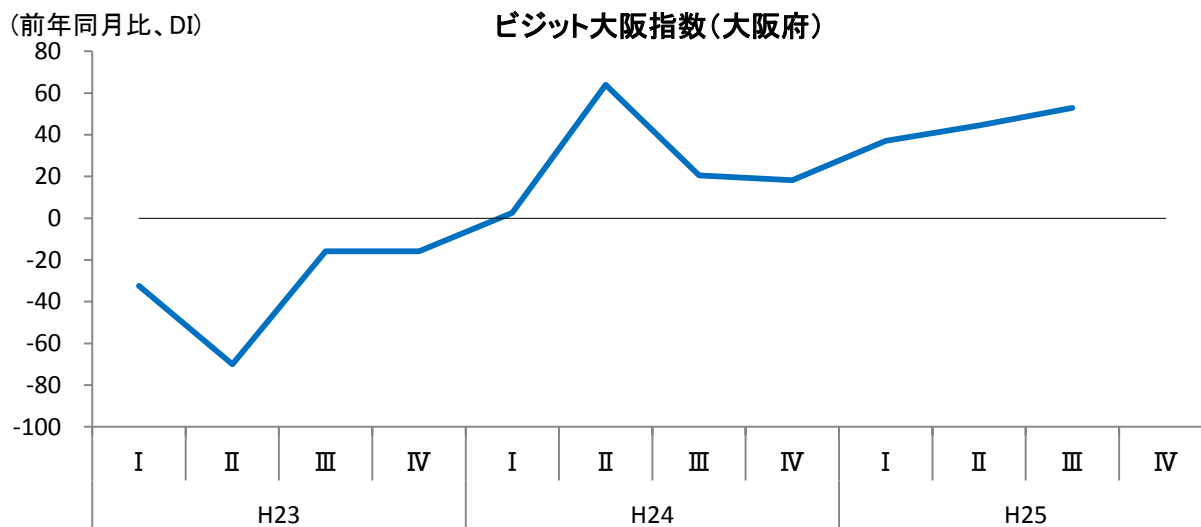
○関西国際空港 国際線外国人旅客数【21ヶ月連続で増加】



(資料)新関西国際空港(株)「運営概況」

	H25年9月	10月	11月
万人	36.9	P 40.5	P 40.5
前年比(%)	35.0	P 34.9	P 31.7

○ビジット大阪指数(DI)【前年同期比で、7～9月期は前回調査より上昇。】



(資料)大阪府都市魅力・観光課「大阪府観光統計調査」

※四半期は暦年ベース。DI:「好調」の割合(%)－「不調」の割合(%)。

	H25年 1～3月	4～6月	7～9月
業況判断DI (前年同期比)	37.1	44.4	52.9